

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2012.09) 平成22年度:151.

リアルタイム薬品管理装置を用いた手術部薬品管理

本間 敦、山近真美、藤原由紀恵、平田 哲

# リアルタイム薬品管理装置を用いた手術部薬品管理

旭川医科大学病院手術部 本間 敦、山近 真美、藤原由紀恵、平田 哲

## はじめに

手術部で使用する薬剤は多種多様であり、特に筋弛緩剤や麻薬など厳重に管理しなければならない薬剤を常用している。さらに使用頻度の多さと同時に各手術室で使用するため、リアルタイムの定数確認に難渋していた。今回、手術部における薬品管理の一端として監視装置を備えた部屋にリアルタイム薬品管理装置を導入した結果を報告する。

## 方法

リアルタイム薬品管理装置で管理する薬品は筋弛緩剤、吸入麻酔薬、向精神薬とした。薬品定数確認は1日2回、補充は薬剤師による1日1回とした。

## 結果・考察

リアルタイム薬品管理装置を導入し最も有効であったのは定数確認に費やす時間と労力が削減できたことであった。これは、同時に多人数で数ヵ所において薬剤を使用する手術部の特性に合致したものと考えられる。吸入麻酔薬においては、リアルタイム薬品管理装置が重量を確認できないため管理・運用面で課題が残る。

また、履歴が残り監視装置と組合せ使用することで不正使用の抑止力や定数不一致時の原因追究も容易になると考える。以上より、リアルタイム薬品管理装置は危険薬を多くのスタッフ・場所で使用する手術部の薬品管理において有用と考える。